



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省

鳥取労働局発表
平成24年10月18日

担	職業安定部職業安定課	長	津村 光明
当	地方職業指導官	福田 豊	
	電	話	0857(29)1707

就職内定率は34.9%で昨年を上回る

～ 前年同期比3.3ポイント改善したものの低水準 ～

－ 平成25年3月新規高等学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況 －

鳥取労働局（局長 ^{やざわ} 矢澤 ^{よしむね} 由宗）は、平成25年3月新規高等学校卒業予定者に関する平成24年9月末現在における求人・求職・就職内定の状況を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

1 就職内定の状況について

- (1) 就職内定者は447人で、前年同期（379人）に比べ17.9%（68人）増加。
- (2) 就職内定率は34.9%となり、前年同期（31.6%）を3.3ポイント上回る。
（統計が残る平成7年以降で7番目の低水準）

2 県内求人の状況について

- (1) 求人数は797人で、前年同期（697人）に比べ14.3%（100人）増加。
（統計が残る平成7年以降で6番目の低水準）
- (2) 求人倍率は0.62倍で、前年同期（0.58倍）を0.04ポイント上回る。
- (3) 県内求人を産業別にみると、前年同期と比べ、宿泊・飲食サービス業で110.7%（31人）、建設業で47.1%（16人）、医療・福祉で18.8%（25人）、製造業で8.0%（20人）と大幅に増加しているが、他の産業においては、ほぼ同水準で推移している。

【参考値】県内就職希望者の求人倍率は0.78倍となり、前年同期を0.06ポイント上回る。

3 求職の状況について

- (1) 求職者（学校・公共職業安定所の紹介を希望する者）数は1,281人で、前年同期（1,200人）に比べ6.8%、81人の増加。
- (2) 卒業予定者のうち就職を希望する者の割合（就職希望率）は22.6%で、前年同期を0.6ポイント上回る。
（統計が残る平成7年以降で7番目の低水準）
- (3) 県内就職希望者数は、1,026人で前年同期に比べ6.5%、63人の増加。
（県内就職希望率は80.1%で、前年同期を0.2ポイント下回る）

4 今後の主な就職支援対策について

- (1) 新規高等学校卒業予定者就職面接会の開催
鳥取会場 平成24年11月9日（金）13:30～16:00 白兔会館
米子会場 平成24年11月13日（火）13:30～16:00 米子ワシントンホテルプラザ
倉吉会場 平成24年11月15日（木）13:30～16:00 ホテルセントパレス倉吉
- (2) 求人開拓の継続実施
労働局、鳥取県及び鳥取県教育委員会による個別企業訪問要請の継続実施。
ハローワークによる求人開拓の継続実施。
- (3) 未内定生徒に対する個別支援の実施
求職情報作成による個別求人開拓の実施
学卒ジョブサポーターによる生徒に対する個別支援の実施
- (4) 新卒者就職応援本部第6回会合の開催

【参考】・ 本調査は、学校・ハローワークの紹介を希望する新規高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者に係る就職の状況を取りまとめたものである。
・ 平成25年3月新規高等学校卒業予定者の選考・採用内定開始期日は、厚生労働省及び文部科学省により平成24年9月16日以降と定められている。